

項目	1. 教育・保育施設長としての基盤	プログラム (1)
科目名	(1) 施設長としての資質・素養	
主旨	施設長として豊かな人間性を持ち、柔軟にものごとを受けとめ、職員の指針となるリーダーとして行動する。	
	ねらい	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思考や行動の特性を知る。 ○豊かな感性を培い、ものごとをあらゆる角度から見る能力を身につける。 ○未知の事象に対して積極的に関心をもつ。 ○自然や文化、芸術にふれる。 ○多様な考え方にふれることで、素養をさらに高める。 ○論理的思考とその表現力を身につける。 ○自己を見つめ、客観的な評価を受けとめるとともに、自らの変革を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と異なる職業や立場、年齢の人と話をする。 ○施設長が、他者からの評価や職員からの意見・提案等を受ける機会をつくり、必要に応じてそれに対応する。 ○さまざまな分野の文献を読む。
		<ul style="list-style-type: none"> ○多様な考え方にふれることによって、保育の質の向上や充実につなげることを意識して講義を展開する。

項目	1. 教育・保育施設長としての基盤	プログラム (1)
科目名	(2) リーダーシップ	
主旨	施設長としてのリーダーシップとは何かを知り、日々の実践につなげる。	
ねらい	内容	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○組織の仕組みを理解する。 ○組織運営の視点を養う。 ○組織を運営するためのリーダーシップとは何かを学ぶ。 ○協力しあう組織を範として、活力ある組織をつくる。 ○交渉する力、協働する力を養う。 ○さまざまな環境に関わり、自ら人間関係を切りひらくための素養を高める。 ○職員へ組織の使命やビジョンを伝える方法等を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織運営の専門家等による組織運営理論に学ぶ。 ○企業経営者等の話を聞き、意見交換をする。 ○自分の考えを文章にして定期的に発行したり、他者の前で発表したりする。 ○地域の行事や異業種の集いに参加し、相互の使命を理解するとともに、地域における社会的な役割を積極的に引き受ける。 ○倫理観にもとづいた自己の考え方を確立するとともに、他者との関係を築くことを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リーダーシップは、施設長だけが取り組むべきものではなく、それぞれの職位・職階や役割に応じたリーダーシップがある。一人ひとりがリーダーシップを発揮することが、組織の成長につながることを伝える。

項 目	1. 教育・保育施設長としての基盤	プログラム (1)
科目名	(3) 福祉・保育の理念と歴史	
主 旨	社会福祉の歴史を学び、保育の位置づけを知る。	
ねらい	内容	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○保育や幼児教育の歩みを理解する。 ○子どもの最善の利益を尊重し、福祉を増進するための基本理念と保育観を醸成する。 ○虐待に関する基本的理解と対応を進める。 ○地域と共生するための保育所・認定こども園等の役割の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉の歴史における、保育の位置付けや理念の変遷もふまえて考える。 ○先達の子どもに対する思い、保育に対する思いから、自らを振りかえる。 ○教育・保育施設におけるアドボカシー（子どもの意思や権利を代弁し、かかわること）の実践例を発表し、考察する。 ○地域のニーズに対応する保育所・認定こども園等の役割を考える。 ○地域福祉の拠点としての保育所・認定こども園等の意義を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉の歴史の解説にとどまらないようにし、先達の保育に対する姿勢や考え方、実践の積み重ねにふれる。

項 目	1. 教育・保育施設長としての基盤	プログラム (1) (2)
科目名	(4) 制度・基本的仕組みの理解	
主 旨	施設長として、保育・子育て支援に関連する各種法律を理解する。	
ねらい	内容	留意点
<p>○児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）を理解する。</p> <p>○制度の根幹である、子ども・子育て支援制度を学ぶ。</p> <p>○保育や子育て支援、施設運営に関連する法律等を知る。</p> <p>○保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解する。</p>	<p>○「子どもの最善の利益」について、話し合う。</p> <p>○子ども・子育て支援制度の基本理念、仕組み等を学ぶ。</p> <p>○関連法令や各種通知について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法 ・児童福祉法 ・子ども・子育て支援法 ・次世代育成支援対策推進法 ・食育基本法 ・児童虐待の防止等に関する法律 ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 ・子どもの貧困対策の推進に関する法律 ・発達障害者支援法 ・生活困窮者自立支援法 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 ・母子及び父子並びに寡婦福祉法 ・母子保健法 ・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 ・個人情報保護に関する法律 ・労働基準法 ・育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 等 <p>○保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、各解説から、基本項目を学ぶ。</p>	<p>○子どもの権利の基本理念の学習として、子どもの権利条約にふれたうえで、子ども・子育て支援制度を理解し、関連する法律について解説する。</p> <p>○保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の解説だけでなく、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領にもふれる。</p>

項 目	1. 教育・保育施設長としての基盤	プログラム (1) (3)
科目名	(5) 教育・保育施設としての社会的使命	
主 旨	社会的使命を果たすための組織のあり方を理解する。	
ねらい	内容	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○コンプライアンスを徹底する組織をつくる。 ○施設のガバナンスの強化をはかる。 ○主な運営主体である、社会福祉法人とは何か、社会福祉法人制度の理念や仕組みを学ぶ。 ○教育・保育施設としての社会的意義（公益性）を理解し、実践に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育・子育て支援を担う組織としての社会的使命を確認する。 ○運営主体によらず共通して考えるべき、地域に対する姿勢、ニーズへの対応などを整理する。 ○社会福祉法人の仕組みについて、教育・保育施設の運営、子育て支援に関する事業の運営の視点から考える。 ○社会福祉法人の組織づくりについて理解し、自法人の体制を見直す。 ○社会福祉法人の役割を、運営主体の異なる法人と比較しながら解説する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育・子育て支援の運営主体には、社会福祉法人、学校法人、NPO 法人、宗教法人、個人立、株式会社など、多様な運営主体があるが、公立施設等を含め、共通する社会的使命を示唆する。 ○社会福祉法人制度の仕組みについて、公益法人としてあるべき姿の視点から解説する。

項目	2. 教育・保育施設の経営のための知識・技術	プログラム (3)
科目名	(1) 教育・保育施設の経営のための知識・技術	
主旨	働きやすい職場、働きがいのある職場をつくる。	
	ねらい	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ○労働に関する法律や制度の基本を知る。 ○理念・運営方針を日々の実践へ反映する。 ○財務管理、人事労務管理、経営分析の基本を学ぶ。 ○リスクマネジメントの取り組み方法を理解する。 ○ハラスメントを理解し、防止をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働に関する法律や制度について学ぶ。 ○自園の理念・運営方針をあらためて確認し、理念・運営方針にもとづく実践のあり方を話し合う。 ○風通しのよい組織体系を検討し、職員の意見交換、共通認識の場の作り方を考える。 ○職務基準の見直しや、目標管理を行うシステムを構築する方法を理解する。 ○リスクマネジメントの基本について、ヒヤリ・ハット報告などの事例から学び、改善のサイクルを知る。
		<ul style="list-style-type: none"> ○組織の現状と課題をあらためて振りかえるような講義を展開する。

項目	2. 教育・保育施設の経営のための知識・技術	プログラム (2) (3)	
科目名	(2) 教育・保育施設長としての質の向上の取り組み①		
主旨	保育の質の向上、職員の質の向上をめざす。		
ねらい	内容	留意点	
<ul style="list-style-type: none"> ○多様な評価の方法と、保育の評価と質の向上の考え方を学ぶ。 ○第三者評価の意義とその方法を理解する。 ○エビデンスに基づく保育とは何かを整理する。 ○研修の内容・形態の基本について理解し、研修の実施（運営課題としての人材育成）について具体的に考える。 ○保育士等キャリアアップ研修をふまえた自施設の研修体系を構築する。 ○全体的な計画にそった、具体的な研修計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育の評価方法のひとつとして、福祉サービス第三者評価の仕組みを学ぶ。 ○第三者評価の自己評価と質の向上の関連について、事例をふまえた対応を知る。 ○保育所保育指針等による評価を理解する。 ○保育所保育指針で示されている自己評価のプロセスにふれる。 ○保育に関連する量的・質的データの読み方を知り、実践の科学的根拠を得る方法を学ぶ。 ○サービス改善サイクルの仕組みを理解する。 ○保育の質の向上のためのプログラム開発を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○評価には、社会福祉法に基づく評価、保育所保育指針等に示されている評価など、多様な方法がある。これらを明示して詳細に解説する。 ○他者の視点を入れ、外部の意見や評価を取り入れる意義を考える。 	

項 目	2. 教育・保育施設の経営のための知識・技術	プログラム (2)
科目名	(2) 教育・保育施設長としての質の向上の取り組み②	
主 旨	職員の意欲を引き出し、職員の成長を図るための相談援助技術を活用できるようになる。	
ねらい	内容	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーバイザーとしての力量を高める。 ○保育相談支援の基本を身につける。 ○指導計画の編成と展開の評価の方法を確認する。 ○組織としての実践の評価について、必要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパービジョンの技術を学ぶ。 ○保育相談支援の事例を学ぶ。 ○子どもの理解を進める。子どもの発達と保健等にとどまらず、広く子どもを理解する。 ○配慮が必要な子どもの理解と具体的実践について話し合う。 ○保育実践を振り返り、指導計画等について演習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの理解を基本として講義を展開する。

項 目	2. 教育・保育施設の経営のための知識・技術	プログラム (2)
科目名	(3) 子育て支援の総合的な拠点（プラットフォーム）としての教育・保育施設	
主 旨	多様化する保育ニーズに対応するため、拠点としての教育・保育施設のあり方を考える。	
ねらい	内容	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の拠点としての教育・保育施設のあり方を学ぶ。 ○地域の保育機能を強化する（子どもの育ちにおける安全・安心の確保）。 ○多様化・個別化する保育ニーズへの対応について考える。 ○相談支援機能を充実する。 ○施設を利用する保護者の理解と対応および地域の保護者支援の理解と実践を進める。 ○教育・保育施設における食育を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育機能の強化による、地域の子どもたちの安全・安心のための取り組みを考える。 ○多様な相談事例を中心に、対応方法について学ぶ。 ○地域の子育て支援に関するニーズを、どのように把握するか話し合う。 ○保護者アンケートやヒアリングに関する項目等を検討し、作成・実施する。 ○地域ニーズへの対応について、先行事例からの学びとして視察等を行う。 ○食育の意義と実践を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会における課題の理解を並行して進めるため、子どもの貧困や生活困窮者支援などのテーマにもふれる。

項 目	2. 教育・保育施設の経営のための知識・技術	プログラム (2)
科目名	(4) 地域・関係機関との連携	
主 旨	社会全体で子育て支援に取り組む。	
ねらい	内容	留意点
<p>○地域・関係機関・施設とのネットワーキング・情報共有をはかる。</p> <p>○地域の人を積極的に受け入れる機会を設定する。</p> <p>○教育・保育施設から地域の行事などへの参加・地域の人たちとふれあいの機会をつくる。</p> <p>○地域や保護者に向けた、発信・情報提供の方法について学ぶ。</p> <p>○ICT の活用による情報開示・連携を進める。</p>	<p>○地域の社会資源とその活動、ネットワークのあり方を考える。</p> <p>○子育て支援の総合的な拠点としての教育・保育施設の役割について話し合う。</p> <p>○地域の人たちを受け入れるノウハウを知る。</p> <p>○地域の特性を考慮した行事等の展開を考える。</p> <p>○子どもたちが（保護者も含め）施設外で地域の人たちとふれあうためのプログラムを作成する。</p> <p>○地域や保護者にとって、どのような情報が有益か検討する。</p> <p>○ICT を活用して、広く社会に情報発信する方法を検討する。</p>	<p>○地域の状況をふまえたネットワーキングのあり方を考察する。</p>

